

2018年2月8日

公益財団法人 日本英語検定協会

4技能型アカデミック英語能力判定試験



2018年度の実施概要について

公益財団法人 日本英語検定協会（理事長：松川孝一、所在地：東京都新宿区、以下「英検協会」）は、このたび、4技能型アカデミック英語能力判定試験「TEAP（ティーブ）」（Test of English for Academic Purposes）の来年度（2018年度）の実施概要がまとまりましたのでお知らせいたします。なお別紙に今年度（2017年度）の実績も記載いたしましたので、併せてご参照願います。

【2018年度TEAPの実施概要】

■ 試験日、申込期間、開催地（予定）

	試験日	申込期間	試験形式	開催地（予定）
第1回	7月22日（日）	5月14日（月）～ 6月28日（木）	4技能（RLWS） 2技能（RL）	20都道府県
第2回	9月16日（日）	7月 9日（月）～ 8月16日（木）		北海道、宮城、秋田、茨城、群馬、埼玉、千葉、
第3回	11月18日（日）	9月10日（月）～ 10月25日（木）		東京、神奈川、新潟、石川、長野、静岡、愛知、 大阪、兵庫、広島、香川、福岡、熊本

※なお開催地は変更の可能性がございます。実際の実施詳細は、随時 TEAPウェブサイト（<http://www.eiken.or.jp/teap/>）にアップしてまいります。

■ 2018年度からの変更点

- ✓ **試験形式の変更** 近年の志願者動向をふまえ、4技能（RLWS）と2技能（RL）の2パターンの試験形式とする
- ✓ **開催地の拡大** 12都道府県から20都道府県（予定）に拡大する

【今後の展望】

英検協会は、去る2017年末、「大学入試英語成績提供システム」に、実用英語技能検定、TEAP、TEAP CBT、IELTSの参加申し込みをいたしました。その結果が2018年3月末、大学入試センターから公表される予定です。したがって現時点ではTEAPが選定されるかは定かではありませんが、英検協会では、全国の多くの大学様に幅広くご活用いただけるよう、開催地の拡大等に努めてまいります。また、受験者様にとりましての利便性も追求してまいります。

英検協会は、今後とも、TEAPに限らず、大学や高校入試における外部検定試験の増加や様々な需要やニーズを考慮し、受験者、学校様それぞれにとりまして最適な試験を提供してまいります。

▽別紙が2017年度のTEAPの実績です。ご参照の程、お願い申し上げます。

【2017年度TEAPの志願者数実績】

試験形式	2017年度 (人)	2016年度 (人)	対前年比
RLWS (4技能)	20,846	10,600	197%
RLW (3技能)	384	239	160%
RL (2技能)	3,204	3,011	106%
志願者数 合計	24,434	13,850	176%

<特徴>

■ TEAP志願者数の、対前年度比176%の大幅な増加

2017年度の志願者数は、2016年度から1万人以上増加し、前年度比176%となりました。

■ 4技能 (RLWS) 形式での志願者比率の増加

4技能形式での志願者数は昨年度より倍増して20,846名となり、受験者の4技能志向が顕著となりました。

この背景として、英検協会では以下のように考察しました。

<考察>

■ 採用大学の急増による受験者増加

2016年度はAO・推薦までを含めて約70大学のところ、2017年度は約120の大学で採用されました。(英検協会調べ)

※TEAP採用大学につきましては (<http://www.eiken.or.jp/teap/group/list.html>) をご参照願います。

■ 「団体専用クーポン利用型サービス」開始による高校生受験者増加

外部英語検定試験を導入する大学数の拡大に伴い、全国の多くの高校様からTEAPの団体受験を希望される声が上がっており、2017年度より、「団体専用クーポン利用型サービス」[※]の提供を開始しました。本サービスの開始により高校生の受験者が大幅に増加しました。

※「団体専用クーポン利用型サービス」につきましては (<http://www.eiken.or.jp/teap/group2/>) をご参照願います。



■ 公益財団法人 日本英語検定協会について

公益財団法人 日本英語検定協会は、「実用英語の普及と向上」を目的に1963年に設立されました。以来、実用英語技能検定の実施・運営のほか、児童向けの「英検」r. (旧・児童英検) やビジネスパーソン向け英語能力テスト「BULATS (ブラッツ)」、"ビジネスを動かす英語力"を測定する対面式スピーキングテスト「GCAS (ジーキャス)」、留学・海外移住のための英語運用能力試験である「IELTS (アイエルツ)」、大学入試に対応した4技能型アカデミック英語能力判定試験「TEAP (ティープ)」,さらには英語教育に関する優秀な研究企画に助成金を交付する「英検研究助成」制度など、実用英語の普及・向上に向けた様々な取り組みを展開しております。2012年4月、内閣府からの認定書交付を受けて正式な団体名称を「公益財団法人日本英語検定協会」に改めています。

英検協会ウェブサイト：<http://www.eiken.or.jp/>